

思い出あふれ「今の方がつらい」

震災4カ月悲しみ癒えず



津波で行方不明となった家族のため、江岸寺のお墓で手を合わせる人たち

11日午後、岩手県大槌町

東日本大震災は11日で発生から4カ月となった。各地の避難所や慰霊祭会場では、地震発生時刻の午後2時46分に合わせて多くの被災者が黙とう。肉親を失った人たちは、4カ月たっても決して癒えることのない悲しみに涙した。

岩手県大槌町では、津波で被災し、火事で黒く焦げた跡が残る江岸寺で追悼法要が営まれた。

小国美智子さん(53)は長女の奈穂子さん(25)を亡くした。「いつも私を支えてくれる子だった。時間がたつにつれ

て思い出すことが多くなり、震災直後より今の方がつらい」と涙を流した。

仙台市は、仙台国際センターで慰霊祭を開催。

遺族代表の菊地守さん(40)は弟の由樹さん(29)を亡くし、お別れの言葉で「もつと一緒になっていた」と涙ながらに祭壇に語りかけた。

警察庁のまとめでは震災の死者は1万5550

人。行方不明者は5344人となっている。

◇「震災の被災者」は32面に移しました。